

# 令和2年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択必修領域】受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域		
講習の名称	【選択必修】教師と子どものギャップから考える①—道徳教育はいじめ防止につながるか—		
開設日	令和2年8月12日(水)	講習時間	6時間
受講対象者	全教員	受講人数	120人
講習の形態	インターネット講習(オンデマンド授業録画型) ※一旦講習を視聴し、期日までに課題のワークシート提出、さらにフィードバック講習を視聴、最後に認定試験実施を(解答提出期限8/19)予定しております。		
担当講師	若本 純子		
講習のねらい・到達目標	子どものいじめと道徳性の発達について発達臨床心理学的観点から理解を深め、道徳教育や生徒指導・生活指導に活用できることをねらいとする。		
講習内容	道徳が教科化された目的のひとつにいじめの防止が掲げられています。しかし、子どもたちには、いじめは悪いと知りながらもせざるを得ない、という面が多分にあります。ここには、今を生きる子どもたち特有の「現代的な」友人関係のあり方や価値観などが関与しており、単に道徳的価値(善悪や命の大切さ)を伝える教育・指導ではいじめ防止に功を奏しないと懸念されます。さらに、新学習指導要領などで「発達の段階を考慮した指導」が謳われていますが、いじめ場面の子どもたちの判断や行動に影響を及ぼす道徳性の発達について、皆さまは十分な知識をお持ちでしょうか？本講習では発達臨床心理学の理論や知見に基づき、まず、子どもの視点から「なぜいじめをしなければならぬのか」を、道徳性の発達と絡めて学んでいきましょう。続いて、いじめ防止を教育・指導する側の教師に特有の視点、子どもの道徳性をいじめ防止にどのように繋げていくことができるか、事例検討とグループワークを通してともに考えていきましょう。		
評価方法・基準	評価は、筆記試験の成績ならびに講習への出席状況とを兼ね合わせて行います。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験に関して	試験問題は講習日当日にメールにて送付します。解答は受験者本人が自署にて行う。提出は郵送にて行う。	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	若本純子	導入:「道徳教育はいじめ防止につながるか」という問い—文部科学省の通知とQ&Aをもとに考えてみよう	
II 10:45~12:15 (90分)	若本純子	いじめをめぐる教師と子どものギャップ①:なぜいじめは悪いとわかっていてもなくなるのか—道徳性の発達と関連づけて考えていこう	
12:15~13:15			
III 13:15~14:45 (90分)	若本純子	いじめをめぐる教師と子どものギャップ②:事例とグループワークを通して、子どもの道徳性の育ちをいじめ防止にどう繋げることができるか考えてみよう	
IV 15:00~16:30 (90分)	若本純子	筆記試験	
受講(視聴)に当たって準備しておくもの	特になし		
予習について	特になし		
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講習は、令和元年度の「道徳性の発達心理学—なぜいじめは悪いとわかっているのにやってしまうのか」と一部内容が重複します。</li> <li>・受講状況を勘案しながら講習を進めますので、講義内容がシラバスと変わることがあります。ご了承願います。</li> </ul>		